

令和6年度学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査の結果等について

I 県立学校における体罰等調査

県立学校における体罰等の実態を把握し、具体的な事案に対しては適切な対応を講ずることで、児童・生徒が安全かつ安心して学校生活を送ることができる環境を整備するため、「学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査」を実施した。

1 調査対象等

- (1) 調査対象者は、高等学校 134 校、中等教育学校 2 校、特別支援学校 29 校のすべての児童・生徒及び保護者、教職員等(外部指導者を含む)
- (2) 調査対象人数は、児童・生徒が約 119,500 人、教職員等が約 16,000 人
- (3) 対象となる体罰等は、学校生活全般における教職員等による体罰や不適切な指導

2 調査対象期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

3 調査方法

- (1) 児童・生徒及び保護者は、パソコン、スマートフォン等から回答するか、学校で配付する回答用紙を県教育委員会に郵送(学校名、課程、学年を原則として回答(無記名回答も可))
- (2) 教職員等は、原則、回答用紙に記名の上で校長に提出

4 調査の結果

調査によって把握した体罰事案は2件、不適切な指導事案は23件であった。

	申告者	体罰	不適切な指導
6年度	児童・生徒及び保護者	2	16
	教職員等	0	7
	合計	2	23
5年度 (参考)	児童・生徒及び保護者	0	
	教職員等	1	
	合計	1	

※「不適切な指導」は令和6年度から調査開始

令和6年度の体罰等の事例(県立学校)

【体罰】

○児童・生徒及び保護者からの申告

- ・授業中、プリントを乱暴に取った生徒を指導する際、廊下に連れ出そうとして、右腕を掴んで引っ張り、当該生徒はよろけて右後頭部と肩をロッカーにぶつけた。
- ・部活動の練習試合中、生徒と言ひ合いになり、右手で当該生徒の右肩を押した。

【不適切な指導】

- ・授業中、別の教科に取り組んでいた生徒を指導する際、当該生徒から反発を受けたため、黒板を平手で叩き、大声で怒鳴った。
- ・授業中、私語をやめない生徒に対して「目障り」と発言した。

Ⅱ 市町村立学校における体罰等調査

政令3市を除く県内のすべての市町村教育委員会が、県の実施要項を参考に、各々の方法により体罰等の実態把握調査を実施した。

1 調査対象等

- (1) 調査対象者は、小学校 327 校、中学校 175 校、高等学校 1 校、特別支援学校 3 校のすべての児童・生徒及び保護者、教職員等
- (2) 調査対象人数は、児童・生徒が約 223,100 人、教職員等が約 18,500 人
- (3) 対象となる体罰等は、学校生活全般における教職員等による体罰や不適切な指導

2 調査対象期間

令和6年4月1日から市町村ごとに定めた調査の回答記入日まで

3 調査の結果

調査によって把握した体罰事案は4件、不適切な指導事案は104件であった。

	申告者	体罰	不適切な指導
6年度	児童・生徒及び保護者	1	85
	教職員等	3	19
	合計	4	104
5年度 (参考)	児童・生徒及び保護者	0	
	教職員等	0	
	合計	0	

※「不適切な指導」は令和6年度から調査開始

令和6年度の体罰等の事例（市町村立学校）

【体罰】

○児童・生徒及び保護者からの申告

- ・部活動中、マナー違反があったことに対する指導として、グラウンドを30分ほど走らせた。

○教職員等からの申告

- ・休み時間、友達とのトラブルについて再三注意していた児童が、当該教諭との約束を破ったため、児童の頭を素手で1回叩いた。
- ・指導中、責任転嫁をし、自己の責任を認めようとしなかった生徒に対して左肩や左頬を叩き、下腹部に膝蹴りをした。
- ・友人間のトラブルがあった児童の腕を引っ張って相手の児童のところへ連れていき、一方的に叱り謝罪させた際に、頭を叩いた。また、指導に従わなかった児童の後頭部を平手で1回叩いた。

【不適切な指導】

- ・授業中、児童に対して「水泳はできるけど、かけ算はできないね」と発言した。
- ・塾で部活動を早退する生徒に対して「早退するのであれば背番号を返せ」と発言した。
- ・授業中、指示を聞かない児童に対して指導する際、近くの台を蹴った。

Ⅲ 令和6年度の体罰事案の状況

令和6年度の体罰事案は、前述の体罰等調査によって把握した事案6件（県立学校2件、市町村立学校4件）を加え、16件（県立学校8件、市町村立学校8件）であった。

1 県立学校

校 種 場 面	6年度				(参考)	
	高等学校	中等教育	特別支援	合 計	5年度	4年度
授業中	1 (1)	0	0	1 (1)	1 (1)	1
部活動中	6 (1)	0	0	6 (1)	3	1
特別活動中 (部活動以外)	0	0	0	0	1	1 (1)
その他 (昼休み・放課後等)	1	0	0	1	1	1
合 計	8 (2)	0	0	8 (2)	6 (1)	4 (1)

※ () 数字は体罰等調査で把握した件数(内数)

※ 令和6年度の部活動中6件について、「令和5年度以前に発生し、令和6年度に体罰と認定した事案」4件を含む。

2 市町村立学校

校 種 場 面	6年度				(参考)	
	小学校	中学校	高等学校 特別支援	合 計	5年度	4年度
授業中	1	0	0	1	2	2
部活動中	0	2 (1)	0	2 (1)	2	0
特別活動中 (部活動以外)	0	0	0	0	0	0
その他 (昼休み・放課後等)	3 (2)	2 (1)	0	5 (3)	3	1
合 計	4 (2)	4 (2)	0	8 (4)	7	3

※ () 数字は体罰等調査で把握した件数(内数)

3 総合計（県立学校＋市町村立学校）

年 度 場 面	6年度	(参考)			
		5年度	4年度	3年度	2年度
授業中	2 (1)	3 (1)	3	5 (2)	5
部活動中	8 (2)	5	1	3	4 (2)
特別活動中 (部活動以外)	0	1	1 (1)	1	0
その他 (昼休み・放課後等)	6 (3)	4	2	0	4
合 計	16 (6)	13 (1)	7 (1)	9 (2)	13 (2)

※ () 数字は体罰等調査で把握した件数(内数)

IV 総括

1 県立学校

部活動中における体罰は前年度の3件から6件に増加した。また、授業中における体罰、その他（昼休み・放課後等）における体罰は、いずれも前年度と同じ1件であった。また、特別活動中における体罰は前年度の1件から0件に減少した。

2 市町村立学校

その他（昼休み・放課後等）における体罰は前年度の3件から5件に増加した。また、部活動中における体罰は前年度と同じ2件、特別活動中における体罰は前年度と同じ0件であった。また、授業中における体罰は前年度の2件から1件に減少した。

V 今後の対応

今後も体罰等の根絶に向けて、継続的に取組を進める必要がある。

各学校では、児童・生徒指導や部活動において、体罰等の未然防止のための環境整備や体罰防止リーフレットの活用、人権教育研修の実施等を行い、体罰等を許さない学校風土づくりに努める。

また、令和6年度の体罰事案及び不適切な指導事案の事例について、各学校へフィードバックすることにより、教職員の意識啓発を図る。

令和6年12月

児童・生徒及び保護者のみなさまへ

神奈川県教育委員会

令和6年度学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査のお願い

このたび、県教育委員会では、令和6年度学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査を実施します。

この調査は、県立学校における教職員などによる体罰の防止に向けた取組を進めることを目的に実施するもので、児童・生徒のみなさんから、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの間に発生した体罰の被害の状況などをお聞きして、今後の取組に役立てていきたいと考えていますので、ご協力ください。

児童・生徒のみなさんは、体罰等を受けたり、見たりしたことがある場合には、次の回答方法により、その内容を回答してください。保護者の方と一緒に回答してもかまいません。

回答内容は、調査の目的以外では利用しません。また、回答された個人情報については、秘密を守りますが、実際にあった体罰にしっかりと対応するため、場合によっては、学校を通じてお話を聞きするなどご協力をお願いすることがあります。

なお、保護者のみなさまにつきましても、体罰等について県教育委員会に伝えたいことがありましたら、同様の回答方法でご意見をお寄せいただくことができます。

【回答方法】

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの間に体罰等を受けたり、見たりしたことがある場合は、パソコン、スマートフォンなどのインターネットに接続可能な機器から、次に記載したURL又は二次元コードを使って回答することができます。

また、学校で「回答用紙」と返信用封筒が配付された場合は、それを使って郵送で回答することもできますが、同じ回答内容については、どちらか一つの方法で回答してください。

回答は令和7年3月31日（月）までですが、事案に迅速に対応するため、できるだけ令和7年1月14日（火）までに回答してください。

郵送で回答する場合、返信用封筒には回答用紙のみを入れ、ポストに入れてください。

体罰等を受けたり、見たりしたことがない場合は、回答する必要はありません。

○直接リンクURL

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=84835

○スマートフォン用二次元コード



（裏面に続く）

※ 体罰^{たいばつ}に関して、緊急^{きんきゅう}の対応^{たいおう}が必要な場合は、至急^{しきゅう}学校^{がっこう}にご相談^{そうだん}ください。
また、県立総合教育^{けんりつそうごうきょういく}センターでも相談^{そうだん}を受け付けています。

■『体罰相談窓口』

・電話相談^{でんわ そうだん} 平日^{へいじつ} 8:45～12:00、13:00～16:45

※年末年始^{ねんまつねんし}(12/29～1/3)は受け付けていません。

電話^{でんわ} (0466)81-1967

・電子メール^{でんし}による相談^{そうだん} ※返信^{へんしん}に数日^{すうじつ}かかる場合があります。

県教育委員会^{けんきょういくいんかい}ホームページ「各種相談^{かくしゆそうだん}」の「体罰相談窓口^{たいばつそうだんまどぐち}」のページからアクセスしてください。

■『24時間子どもSOSダイヤル』

(24時間・365日受付^{にちうけつけ})

電話^{でんわ} 0120-0-78310

【本調査^{ほんちようさ}の問合せ先^{とこあわ さき}】

神奈川県教育委員会^{かながわけんきょういくいんかい}教育局支援部^{きょういくしえんぶ}学校支援課^{がっこうしえんか}

電話^{でんわ} (045)210-8230 (直通^{ちよくつう})

「令和6年度 学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査」回答用紙

◎ 調査に回答するときに気をつけてほしいこと

- ※ 令和6年4月1日からこれまでの学校生活の中で、自分自身が体罰等を受けたり、他の児童・生徒が体罰等を受けたのを見たりした場合に、答えられる範囲で回答してください。
- ※ 体罰等を受けたり、見たりしたことがない場合は、回答用紙を提出する必要はありません。
- ※ 根拠のない噂や悪口ではなく、事実を記入してください。
- ※ 回答は、令和7年3月31日（月）まで受け付けますが、できるだけ令和7年1月14日（火）までに回答してください。
- ※ 回答用紙への記入が終わったら、一緒に配られた封筒を使ってポストに入れてください。封筒は、「神奈川県教育委員会教育局行政課人権教育グループ」に届きます。なお、この封筒は、同時に行われている「セクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査」の回答と共用になります。
- ※ 回答方法は、あてはまる記号（アからケ）に○をつけるか、☐欄に記入してください。
- ※ 【必須回答】と書いてある項目には必ず回答してください。
- ※ 保護者のみなさまは、体罰等について県教育委員会に伝えたいことがありましたら、質問15の回答欄に記入してください。

【質問1】

回答している方は、どちらですか。【必須回答】

ア：児童・生徒

イ：保護者 ⇒ イの場合は質問15に進んでください。

【質問2】

学校生活での体罰について、次の中からあてはまるものを選んでください。（ア、イの複数回答ができます）【必須回答】

ア：自分自身が体罰を受けた

イ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た

【質問3】

あなたの学校名を記入してください。【必須回答】

【質問4】

あなたの学校の課程などを選んでください。【必須回答】

【高等学校の場合】

ア：全日制

イ：定時制

ウ：通信制

【中等教育学校の場合】

エ：前期課程

オ：後期課程

【特別支援学校の場合】

カ：小学部

キ：中学部

ク：高等部

【質問5】

あなたの学年を記入してください。〔必須回答〕

ねんせい
年生

【質問6】

あなたの名前を記入してください。

【質問7】

あなたの性別を選んでください。

ア：男 イ：女

【質問8】

誰から体罰を受けました（受けたのを見ました）か。次の中からあてはまるものを選んでください。

〔必須回答〕

ア：教科担当の先生 イ：学級担任の先生
ウ：部活動の顧問の先生 エ：部活動の外部指導者（顧問の先生以外）
オ：その他（具体的に記入してください。）

【質問9】

どのような体罰を受けました（見ました）か。次の中からあてはまるものを選んでください。

（複数回答ができます）〔必須回答〕

ア：素手でたたく イ：物を使ってたたく ウ：物をぶつける
エ：蹴る オ：転倒させる カ：踏みつける
キ：つねる ク：正座・直立など特定の姿勢を長時間にわたって保持させる
ケ：その他（具体的に記入してください。）

【質問10】

いつ体罰を受けました（見ました）か。次の中からあてはまるものを選んでください。

（複数回答ができます）

ア：授業中 イ：ホームルーム・学級活動 ウ：放課後・休み時間
エ：学校行事 オ：部活動
カ：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問11】

どこで体罰を受けました（見ました）か。次の中からあてはまるものを選んでください。
（複数回答ができます）

- ア：教室 イ：職員室・準備室 ウ：児童・生徒指導室
エ：グラウンド オ：体育館・武道場
カ：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問12】

体罰の被害状況はどうでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください。
（複数回答ができます）

- ア：特にケガはなし イ：骨折・ねんざ ウ：鼓膜損傷
エ：外傷（切り傷、すり傷） オ：打撲（頭・顔・足など） カ：鼻血
キ：髪を切られる
ク：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問13】

体罰をした人の名前（教科名・学級名・部活動名など）、体罰の時期、その他体罰の具体的な内容などを記入してください。

体罰を見た場合は、被害を受けた児童・生徒の名前なども記入してください。

（記入した内容について、県教育委員会から至急連絡をしてほしい場合には、電話番号などの連絡先も記入してください。）

しつもん
【質問14】

体罰以外で、学校の先生から、人格を否定するような暴言や、物を投げつける等の行為を受けたこと（見たこと）がある場合は、具体的な状況や内容等を記入してください。

しつもん
【質問15】

保護者のみなさまで、体罰等について県教育委員会に伝えたいことがありましたら、記入してください。

（記入した内容について、県教育委員会から至急連絡をしてほしい場合には、電話番号などの連絡先も記入してください。）

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。

といあわ さき
【問合せ先】

かながわけんきょういくいいんかい きょういくきょくしえんぶ がっこうしえんか
神奈川県教育委員会 教育局支援部 学校支援課
でんわ
電話 (045) 210-8230 (直通)

令和6年12月

教職員のみなさんへ

神奈川県教育委員会

令和6年度 学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査について

この調査は、県立学校における教職員などによる体罰等の防止に向けた取組を進めることを目的に実施します。学校における体罰等を根絶するために、実態を明らかにし、再発防止に資するという趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

本調査用紙は、令和7年1月14日（火）までに、校長(管理職)に提出してください。

氏 名

※原則、記名での提出をお願いします。

※項目3（自分以外の教職員等の行為）は、具体的かつ客観的に記入いただける場合に限り、無記名での提出も可能です。（その際には、本調査用紙をコピーしてください。）

- 1 あなたは、今年度（令和6年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、児童・生徒に対して体罰や不適切な指導（人格を否定するような暴言や、物を投げつける等の行為）、あるいは児童・生徒から体罰等ではないかと受け止められる行為をしたことがありますか。ただし、既に体罰等による懲戒処分等を教育委員会から受けているものは除きます。

（ はい ・ いいえ ） →→→ 「はい」の場合は2へ

- 2 「はい」と答えた場合は、その行為について具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	令和 年 月 日 時頃 授業中・休み時間・部活動中・放課後・その他（ ）
どこで	教室（ 年 組）・特別教室（ ） ・体育館・グラウンド・その他（ ）
誰に	年 組 生徒氏名（ ）
どのような 行為をしたか （具体的に）	

（裏面に続く）

- 3 あなたは、今年度（令和6年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、自分以外の教職員等による、児童・生徒に対しての体罰や不適切な指導（人格を否定するような暴言や、物を投げつける等の行為）、あるいは児童・生徒から体罰等ではないかと受け止められる行為を見たことがありますか。

見たことがある場合は、その行為について具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	令和 年 月 日 時頃 授業中・休み時間・部活動中・放課後・その他（ ）
どこで	教室（ 年 組）・特別教室（ ） ・体育館・グラウンド・その他（ ）
誰が	教職員等氏名（ ）
誰に	年 組 生徒氏名（ ）
どのような 行為をしたか （具体的に）	

児童・生徒及び保護者のみなさまへ

() 教育委員会

令和 6 年度 学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査のお願い

今、体罰等を受け困っているみなさんは、ひとりで悩まず相談できる人に相談をしてくださいます。まずは、自分の学校に相談をしてください。

また、次の機関でも相談を受け付けています。

- () 教育委員会 () 課 連絡先〇〇〇
- () 教育センター 教育相談 連絡先〇〇〇

市町村ごとに記載

この調査は、学校における教職員などによる体罰等の防止に向けた取組を進めることを目的に実施します。

児童・生徒のみなさんから、体罰等の被害の状況などをお聞きして、今後の取組に役立てていきたいと考えています。体罰等を防止するために御協力ください。

回答の結果は、調査の目的以外では利用しません。個人情報などについては、秘密を守りますので、体罰等を受けたり、見たりしたことがある場合には、事実を記入してください。

ただし、実際にあった体罰等にしっかりと対応するため、場合によっては、お話を伺うなど御協力をお願いすることがあります。

◎ 調査に回答するとき気をつけてほしいこと

- ※ 回答は、学校ではなく、自宅などで記入してください。
- ※ 令和 6 年 4 月 1 日からこれまでの学校生活での出来事について、回答できる範囲で回答してください。
- ※ 回答はすべて、別紙の回答用紙に記入してください。記入方法は、あてはまる記号などに○をつけてください。また、答えられる範囲で具体的に記入してください。
- ※ 学年と学校名は、必ず記入してください。氏名は書かなくても構いません。
- ※ 体罰等を受けたり、見たりしたことがある場合は、教員などの氏名や部活動名・教科名・時期などを含め、質問 4 または質問 5 の欄に具体的に記入してください。
- ※ 回答用紙への記入が終わったら、一緒に配られた封筒を使って、〇月〇日(〇)までにポストに入れてください。なお、学校に提出しても構いませんが、その場合には必ず教頭先生に直接提出してください。提出された回答用紙は、学校では開封せずに教育委員会に提出されます。
- ※ 根拠のない噂や悪口ではなく、事実を記入してください。
- ※ 保護者のみなさまは、体罰等について教育委員会に伝えておきたいことなどがありましたら、質問 6 の欄に記入してください。
- ※ 体罰等を受けたり、見たりしたことがなく、質問 6 の保護者記入欄が無回答の場合は、回答用紙を提出する必要はありません。

市町村ごとに記載

市町村ごとに記載

【質問 1】

学校生活での体罰等について、次の中からあてはまるものを選んでください（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの複数回答ができます）。

- Ⅰ：自分自身が体罰を受けた ⇒ 質問 2・質問 4・質問 6に進んでください。
 Ⅱ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た ⇒ 質問 3・質問 4・質問 6に進んでください。
 Ⅲ：不適切な指導（人格を否定するような暴言や、物を投げつける等の行為）を受けたこと（見たこと）がある ⇒ 質問 5・質問 6に進んでください。
 Ⅳ：体罰等を受けていないし、体罰等を見たこともない ⇒ 児童・生徒の質問は終了です。保護者の方は、質問 6に進んでください。

【質問 2】

- (1) 質問 1 で「Ⅰ：自分自身が体罰を受けた」と答えた人にお聞きします。

それはどのようなものでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：素手でたたく イ：物を使ってたたく ウ：物をぶつける
 エ：蹴る オ：転倒させる カ：踏みつける
 キ：つねる ク：正座・直立など特定の姿勢を長時間にわたって保持させる
 ケ：その他（質問 4 の欄に具体的に記入してください。）

- (2) その体罰は、誰から受けましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：教科担当の先生 イ：学級担任の先生
 ウ：部活動の顧問の先生 エ：部活動の外部指導者（部活動の顧問の先生以外）
 オ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

- (3) その体罰は、いつ受けましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：授業中 イ：ホームルーム・学級活動 ウ：放課後
 エ：休み時間 オ：学校行事 カ：部活動
 キ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

- (4) その体罰は、どこで受けましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：教室 イ：廊下・階段 ウ：職員室・準備室
 エ：児童・生徒指導室 オ：運動場・体育館
 カ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

- (5) その体罰の被害状況はどうでしたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

ア：特にケガなし
 エ：外傷
 キ：打撲（足）
 コ：髪を切られる

イ：骨折・ねんざなど
 オ：打撲（頭）
 ク：打撲（オ～キ以外）
 サ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

ウ：鼓膜損傷
 カ：打撲（顔）
 ケ：鼻血
 （答えられる範囲で具体的に記入してください。）

※ その体罰のさらに詳しい状況を質問4の欄に記入してください。

【質問3】

- (1) 質問1で「Ⅱ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た」と答えた人にお聞きします。
 それはどのようなものでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

ア：素手でたたく
 エ：蹴る
 キ：つねる
 ケ：その他（質問4の欄に具体的に記入してください。）

イ：物を使ってたたく
 オ：転倒させる
 ク：正座・直立など特定の姿勢を長時間にわたって保持させる

ウ：物をぶつける
 カ：踏みつける
 ケ：その他（質問4の欄に具体的に記入してください。）

- (2) その体罰は、誰が行ったものですか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

ア：教科担当の先生
 ウ：部活動の顧問の先生
 オ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

イ：学級担任の先生
 エ：部活動の外部指導者（部活動の顧問の先生以外）

- (3) その体罰は、いつ行われましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

ア：授業中
 エ：休み時間
 キ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

イ：ホームルーム・学級活動
 オ：学校行事

ウ：放課後
 カ：部活動

- (4) その体罰は、どこで行われましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

ア：教室
 エ：児童・生徒指導室
 カ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

イ：廊下・階段
 オ：運動場・体育館

ウ：職員室・準備室

※ その体罰のさらに詳しい状況を質問4の欄に記入してください。

【質問4】

質問1で「Ⅰ：自分自身が体罰を受けた」と答えた人と「Ⅱ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た」と答えた人にお聞きします。体罰を行った教員などの氏名や部活動名・教科名・時期などを含め、具体的に記入してください。

【質問5】

不適切な指導（人格を否定するような暴言や、物を投げつける等の行為）を受けたこと（見たこと）がある場合は、不適切な指導を行った教員などの氏名や部活動名・教科名・時期などを含め、具体的な状況や内容等を記入してください。

【質問6】

保護者のみなさまにお聞きします。体罰等について、教育委員会に伝えたいことがありましたら、記入してください。

※ 質問4・質問5・質問6の内容について、教育委員会から至急連絡をしてほしい場合は、回答用紙の質問6の欄に連絡先を記入してください。

※ 体罰等を受けたり、見たりしたことがなく、質問6の保護者記入欄が無回答の場合は、回答用紙を提出する必要はありません。

市町村ごとに記載

ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ先】

（ ）教育委員会（ ）課 電話（〇〇〇）〇〇〇－〇〇〇〇（直通）

市町村ごとに記載

回答用紙

あてはまる記号などに○をつけ、答えられる範囲で具
体的に記入してください。

資料2 (回答用紙)

※Ⅰ、Ⅱの複数回答ができます

質問1	I	→ 学校名と学年を書き(氏名は書かなくても構いません) 質問2・質問4・質問6に進んでください
	II	→ 学校名と学年を書き(氏名は書かなくても構いません) 質問3・質問4・質問6に進んでください
	III	→ 学校名と学年を書き(氏名は書かなくても構いません) 質問5・質問6に進んでください
	IV	→ 児童・生徒の質問は終了です。(保護者の方は質問6へ) (質問6も無回答の場合は 回答用紙の返送は不要です)

質問1で「Ⅰ」または「Ⅱ」、「Ⅲ」にと回答(複数回答可)した方および質問6に保護者が記載する場合は、学校名と学年は必ず記入し回答を続けてください。氏名は書かなくても構いません。

学校名	学校	学年	年(年次)生
課程など	全日制・定時制・通信制	小学部・中学部・高等部	
氏名		性別	男・女

小中学校向けでは削除

※複数回答ができます

質問2	(1)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
	(2)	ア イ ウ エ オ → ()
	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ → ()
	(4)	ア イ ウ エ オ カ → ()
	(5)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ → ()
質問3	(1)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
	(2)	ア イ ウ エ オ → ()
	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ → ()
	(4)	ア イ ウ エ オ カ → ()
質問4		
質問5		
質問6		

体罰等を受けたり、見たりしたことがなく、質問6の保護者記入欄が無回答の場合は、回答用紙を返送する必要はありません。

市町村ごとに記載

令和 7 年 1 月

教職員のみなさんへ

神奈川県教育委員会

令和 6 年度 学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査について

この調査は、県立学校における教職員などによる体罰等の防止に向けた取組を進めることを目的に実施します。学校における体罰等を根絶するために、実態を明らかにし、再発防止に資するという趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

本調査用紙は、令和 7 年〇月〇日 (〇) までに、校長(管理職)に提出してください。

氏 名

※原則、記名での提出をお願いします。

※項目 3 (自分以外の教職員等の行為) は、具体的かつ客観的に記入いただける場合に限り、無記名での提出も可能です。(その際には、本調査用紙をコピーしてください。)

- 1 あなたは、今年度(令和 6 年 4 月から現在まで)、学校内の指導全般において、児童・生徒に対して体罰や不適切な指導(人格を否定するような暴言や、物を投げつける等の行為)、あるいは児童・生徒から体罰等ではないかと受け止められる行為をしたことがありますか。ただし、既に体罰等による懲戒処分等を教育委員会から受けているものは除きます。

(はい ・ いいえ) →→→ 「はい」の場合は 2 へ

- 2 「はい」と答えた場合は、その行為について具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	令和 年 月 日 時頃 授業中・休み時間・部活動中・放課後・その他 ()
どこで	教室 (年 組) ・特別教室 () ・体育館・グラウンド・その他 ()
誰に	年 組 生徒氏名 ()
どのような 行為をしたか (具体的に)	

(裏面に続く)

- 3 あなたは、今年度（令和6年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、自分以外の教職員等による、児童・生徒に対しての体罰や不適切な指導（人格を否定するような暴言や、物を投げつける等の行為）、あるいは児童・生徒から体罰等ではないかと受け止められる行為を見たことがありますか。

見たことがある場合は、その行為について具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	令和 年 月 日 時頃 授業中・休み時間・部活動中・放課後・その他（ ）
どこで	教室（ 年 組）・特別教室（ ） ・体育館・グラウンド・その他（ ）
誰が	教職員等氏名（ ）
誰に	年 組 生徒氏名（ ）
どのような 行為をしたか （具体的に）	